情報誌
初・N・E・T（は・つ・ネ・ッ・ト）
kisei・kai
初台リハビリテーション病院
URL http://www.hatsudai-reha.or.jp
2005 春季号
編集・発行／医療法人 輝生会　初台リハビリテーション病院　〒151-0071 東京都渋谷区本町3-53-3　TEL03-5365-8500
平成17年4月25日（通巻第6号）

新院長就任あいさつ

新院長　木下 牧子（左）、理事長　石川 誠

17年4月1日付けで院長に就任しました木下です。冬季号では教育管理部長として、部の紹介を行ったばかりですが、今度は院長としてご挨拶申し上げることになりました。

今回の人事は、理事長職と院長職を分離することで管理部門を強化し、病院としての社会的責任を十分果たす体制を作ることが目的です。ですから院長が変わりましても、病院の方針には一切変わりはなく、今後も患者の皆さま、ご家族の皆さまにご満足いただける、より質の高いリハビリ医療サービスを提供することに全力を注いでゆきたいと思っております。今年6月で病院開設以来丸3年が経過いたします。まだまだ未熟で至らないところが沢山ありますが、今後もご指導ご鞭撻をいただきながら、皆さまに再び輝いていただけるよう、職員一同努力を続けていく所存です。どうかよろしくお願い申し上げます。

院長　木下　牧子

特集1　個人情報保護法の施行と診療情報の開示について

今年4月より『個人情報保護法』が全面施行されました。これは個人の権利と利益を保護するために、個人情報の取り扱い方法を定めた法律です。

当院は、一人ひとりの患者さまに再び輝いた楽しい人生を送っていただくために、より良いサービスを提供できるよう日々努力を重ねております。「患者さまの個人情報」につきましても、適切に保護し管理することが非常に重要であると考え、この個人情報保護をより一層確実に履行していくように努めてまいります。

この法律によって医療機関に求められているのは、①個人情報利用のために、ご本人の同意を得ること、②個人情報の安全管理、③情報〈診療録〉開示の3点です。

まず、ご本人の同意についてですが、当院では患者さまの個人情報を診療・看護および患者さまの医療にかかわるいろいろな目的で利用させていただくことがございます。この利用目的の詳細につきましては、院内に掲示しております。またリーフレットも準備しておりますので、合わせてご一読ください。その他の目的に個人情報を利用する場合は利用目的をあらかじめお知らせし、ご了解を得た上で利用させていただきます。

次に個人情報の安全管理ですが、当院は、患者さまの個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、患者さまの個人情報の漏洩、紛失、破壊、改ざんまたは患者さまの個人情報への不正なアクセスを防止することに細心の注意をしております。当院は、法令の定める場合等を除き、患者さまの許可なく、その情報を本来の利用目的に該当しない者や患者さまから同意を得られていない団体や個人に提供することはいたしません。

最後に情報開示、つまり診療録の開示についてです。当院は「主体性・自己決定権の尊厳」を病院の理念として掲げており、そのために不可欠な「情報の開示」も理念として併記されています。本来診療上の情報はすべて患者さまご本人に帰属すべきものだと考えております。日頃からわかりやすい説明を心がけていますが、お気づきの点やご質問等ございましたらご遠慮なくお申し出ください。また、患者さまがご自分の個人情報について開示をご希望の場合にもお申し出いただければと思います。情報開示に関するリーフレットも準備しておりますので、どうぞご一読ください。

当院での個人情報保護に関してのご質問や患者さまの個人情報の開示についてのお問い合わせは1階の「総合相談窓口」でお受けいたしますので、ご遠慮なくお声をかけていただければと思います。

教育管理部部長
井上　郁
（個人情報保護委員会委員長）

春季号ラインナップ!!

2P 特集2　装具紹介
ソーシャルワーカー発　～介護保険を利用した福祉用具の購入と住宅改修～
薬剤科メールvol.4　～薬の服用時間のお話(2)～

3P お風呂の椅子の紹介
調理場発　四季の彩
トロミについて

4P "好評連載!"部署紹介 vol.4
当院におけるケアワーカーの役割
2005年度入社式レポート
あとがき

特集 2

◆装◆具◆紹◆介◆

私達の周りには、杖を使用されている方や、足に装具を着用されている方、また車椅子に乗って生活されている方々がいます。このように身に着けて生活に役立てていく杖・装具・歩行器・車椅子を総称して「補装具」と呼びます。装具には上肢・下肢・体幹装具があります。

役割は、主に体を支えたり、変形の予防や矯正、自分の意思とは異なる体の動きを調整したり、失われた身体機能の代わりをします。具体的には「座る」「立つ」「歩く」「掴む」などといった動作を生活場面で役立てる為に使われたりします。

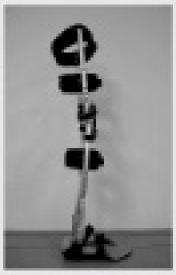
当院は、脳卒中等で麻痺を伴った方が多く入院され、また外来通院されています。

脳卒中で多く使用される装具は下肢装具で、その中には右図の様に金属の支柱が付いているものやプラスチックで出来ているものがあります。また足の部分が靴の形をしていたりプラスチックで出来ていたりと、使う方の状態や生活環境によって様々な種類の中から、必要な機能を取り入れた装具を選択します。

「装具とは、化粧道具のこと。（広辞苑）」のごとく、生活のしやすさや、見た目の割合が高くなってきます。例えば、形や色、目立ち具合、装着感などです。一般に病気になってから間もない頃は、機能重視の装具を使用し、体の状態が安定し実生活に入るにつれて、使い勝手や見た目を重視したものを使っていく事が多くなります。　また、装具と長く付き合っていくためには、メンテナンスが必要ですが、意外とそこまで気を配れないのが現状です。当院のリハビリスタッフは、「かゆい所に手が届く」を目指して関わらせて頂いております。装具が故障した時に、「誰に聞いたら良いのか」、「修理は誰に頼めば良いのか」など、ちょっとした装具についての疑問は当院のリハビリスタッフまでお尋ね頂けると幸いです。

長下肢装具

膝・足首を制御し、主に立つ姿勢をとる練習に使います。



金属支柱付下肢装具

歩行の際、体をしっかりと支えます。足首の調整幅も多彩です。

プラスチック型短下肢装具

軽くシンプルな設計で、適度な弾力が歩行に役立ちます。

理学療法士　二出川　範

ソーシャルワーカー発

介護保険を利用した福祉用具の購入と住宅改修

介護保険の福祉用具レンタル・購入と、住宅改修の違いについて、よくご質問を頂きますので簡単にご紹介します。

①　福祉用具レンタル

自走・介助用車椅子（電動車椅子も含む）車椅子付属品（クッション・テーブルなど）
特殊寝台（ベッド）・特殊寝台付属品（マットレス・手すりなど）
移動用リフト（つり具の部分を除く）・じょく瘡予防用具・手すり（工事を伴わないもの）・スロープ・歩行器・痴呆性老人徘徊感知機器

②　福祉用具購入

腰掛便座（和式便器の上に置いて、洋式に変換する据え置き便器・ポータブルトイレなど）入浴補助用具（入浴用椅子・入浴台・浴室内すのこなど）特殊尿器・移動用リフトのつり具部分など

※衛生的にレンタルに適さないものが、主に対象となります。要介護の程度にかかわらず1人あたり1年（4月から3月）につき上限が10万円、その1割が自己負担となります。

③　住宅改修

手すりの取り付け・段差解消・滑り防止の為の床材の変更・扉の取替えなど
和式便器から洋式便器への取替え　その他の付帯して必要となる住宅改修
※要介護にかかわらず1人あたり上限が20万円で、その1割が自己負担となります。

①は毎月の在宅介護サービス費用に含まれます。
②、③は一旦全額支払ったのちに、申請により償還払いとなります。
申請のためには、それぞれ領収書、パンフレットのコピー、見積もり、施工前後の写真などが必要になります。購入または改修をお考えの際には、事前にケアマネジャー、地域の在宅介護支援センターまたはご担当のソーシャルワーカーへお問い合わせください。

ソーシャルワーカー　湊　千加子

薬剤科メール vol.4

薬の服用時間のお話（2）

服用時間の意味を知っていますか？食前、食間

食前とは食事の30分くらい前に飲むことです。胃酸の分泌を促して食欲を増進させる薬、吐き気を止めるような薬、胃の中に食べ物があると吸収が悪くなる薬などがあります。糖尿病の薬の中で食事により急に血糖値が上がるのを抑える薬は、食直前に飲みます。

食間とは食事と食事の間、つまり食事の2時間ぐらいあとに飲むことを意味します。食事の影響により吸収が悪くなって効果が下がる薬や、空腹時の胃酸を中和させる薬などがあります。

診療技術部薬剤科　井上　倫

お風呂の椅子の紹介

「お風呂の低い椅子から立ち上がるのがつらい…」「お風呂場を歩いて移動する事ができない…」など病気により手足が不自由になったり、年齢を重ねることに立ち上がることが大変になってきます。

生活の疲れを癒す「お風呂」を少しでも楽にゆっくりと安全に過ごせる空間にするために沢山の福祉用具が準備されています。今回はその中からシャワーチェアー・シャワーキャリーをご紹介させていただきます。

① **シャワーチェアー**：低い椅子や座面の狭い椅子では立ち上がることが難しかったり、安定して座ることができない場合があります。背もたれがあるもの・ないもの、折りたたみ式のもの、高さ調節が出来るものなど利用される方の体の状態、ご自宅の浴室環境にあわせて利用できるように沢山の種類のものが準備されています。

＊注意：ご自宅のお風呂で使用すると思ったより大きかった…ということがあります。サイズを確認して選ぶことも重要です。

①

折りたたみ式

②

背もたれなし

② **シャワーキャリー**：入浴用の車椅子です。

浴室内を歩いて移動することが難しい方が利用されています。

座面部分に穴がありトイレと併用できるタイプのものや、足台や肘置きが折りたためるものがあります。その他、座位の安定を保つためのバーを取り付けることもできます。

＊今回、ご紹介させていただいたのは一部分のものです。ご自宅の浴室環境・使用される方の状況に合わせて、より良いものをご提案させていただくために、是非スタッフにご相談ください。

作業療法士　高橋　香奈

調理場発　四季の彩　山吹

和は日本の…という意味以外に、おだやかな、なごやかな、やわらげる、という意味があります。また、調和、平和、講和、などのように、気が合う、仲良くする、という意味の和でもあります。今回は、この季節（春）の和食のお話です。

山吹のわずかにオレンジを帯びた黄色を山吹色と言います。この山吹と言う言葉は平安の昔から用いられており、江戸時代の頃になると、山吹は大判小判の事をさし、悪徳商人が菓子折りにびっしり敷き詰めた黄金色を山吹の花などと称されていました。

和食においては、お豆腐に卵黄または、卵黄に白味噌を加えて塗り焼くと山吹田楽。白身魚や烏賊の塩焼きに卵黄を塗って焼き、仕上げにゆで卵の黄身を裏ごししたものを振り掛けると山吹焼き。昆布〆した平目や鯛の細造りに、ゆで卵の黄身を裏ごししたものを和えると山吹和えです。

その時季の旬の野菜、果物、魚などを使い、色や形をイメージしながら作ることはもちろん、盛り付けや香りで季節を感じさせる、あたたかさや、さわやかさ、すがすがしさなどの季節感を、和食ではとても大切にしています。

春といえば、梅や桜などの艶やかな花を思いがちですが、ちょっと素朴で脇役的な感じのする（？）もので、季節を感じてみてはいかがですか？山吹は4月から5月頃に黄金色に輝く花を咲かせます。美しく山風にゆられ八十八夜を迎えると季節は初夏。新緑の頃を迎えます。

診療部栄養科　調理室　島田　昌行

トロミについて

加齢や脳血管障害などの影響により食べ物の飲み込みが難しい、喉(のど)につかえる、むせる、などの嚥下（えんげ）障害の方で安全に食事をとることが難しい場合があります。液体など喉へ流れ込むスピードが速い食材をとる場合、スピードを調節してむせにくくする為、増粘剤を用いてトロミを付けることがあります。

増粘剤はデンプンを主原料とした加工品です。寒天、ゼラチンとは違い、温度に関係なく直接混ぜるだけでトロミをつけることができます。ただし、増粘剤が多すぎると固まってしまい飲み込みが難しくなるので粘性の調節が必要です。その方に合ったトロミ量を調整する必要がある為、言語訓練時や食事を通して調整しています。　言語聴覚士　井上　奈美

笑顔あふれる生活を目指して

当院におけるケアワーカーの役割

現在当院では3階13名、4階14名、5階11名の総勢38名（2005年3月現在）で、入院患者さまに対して5つの理念を基に、日々ケアに励んでおります。

ケアワーカーとは、身体上又は精神上の障害があることで日常生活を営むことに支障のある方々に対してケアを行う職種です。

当院では、入院生活のすべてがリハビリテーションという考えの下、これまで患者さまの生活の様式に出来る限り沿った形で、より高い自立度を目指した関わりを基本としたケア（食事、排泄、更衣、入浴、睡眠など、入院生活におけるケア）に取り組んでいます。

又、ケアワーカーは患者さまやご家族により近い存在として、不安や悩みに対する援助にも積極的に取り組み、より良い入院生活を送っていただいた上で、安心した退院が迎えられるようにお手伝いをする立場でありたいと考えております。その為にも、ケアのプロフェッショナルであることを常に念頭に置き、日々のケアの質を追求することを心掛けて参りたいと思っています。

当院は3年目ということで、まだ若い病院であります。その中でも私たちケアワーカーは、これまでのリハビリテーション病院で確立した立場としての前例が少ない為、当院ではどのような役割を務めるべきか、問われてくるのではないかと思っております。その為、これまで以上に患者さまのご期待に添えることができるよう、知識、技術、態度の習得に努め、他職種との連携を充実させることで、患者さま一人一人に対するチームの一員として、より良いケアサービスが提供できることを目指し、患者さまやご家族の笑顔があふれる病院にしていきたいと考えます。

サブマネージャ補佐　中澤　和宏（ケアワーカー）

好評連載　各部署紹介
第4回＜5階病棟＞

A・B両チームのチームマネジャーが高知出身であり、5階病棟に一歩入ると土佐弁が飛び交っています。『できるだけ上品に、どなたにでも通じる言葉使い』を心がけていますが、方言とイントネーションはおかしいようです。こんなチームマネジャーの元、スタッフは相手の話を良く聞き理解する気の長いスタッフに育ちました。優しさと若さとガッツが持ち味です。これからも、スタッフ全員一丸となり頑張っていきたいと思います。

5A チームマネジャー　川田　理恵（看護師）
5B チームマネジャー　岡村　奈保（看護師）

2005年度　入社式レポート

平成17年4月1日当院会議室において、入社式が行われました。今年は59名の新人が入職いたしました。

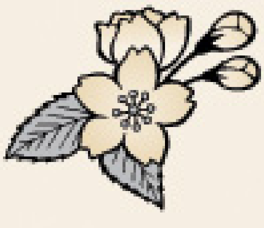
新入職員のひとりに話しを聞きました。「入社早々は緊張の連続で、仕事を覚えることに必死だと思います。しかし、情熱と思いやりの気持ちを忘れずに、持っている力の全てを出し、患者さまひとりひとりを尊重し、常に喜んでいただける存在になりたい。」と熱く語ってくれました。

新人たちは、4月中に様々な研修を経て所属病棟へ配属されます。今の気持ちを忘れずに、一日も早く仕事に慣れ、患者さまをサポートできるよう頑張りましょう！

サポート部　堀口　啓二

あとがき

先日テレビを見ていたら、桜の開花予想が発表されていました。お花見特集を組む雑誌もチラホラ発売され始め、いよいよ春だなぁと嬉しくなりました。そういえば、日本映画は外国の映画と比べるとダントツに桜のシーンが多いそうです。季節の移ろいの中で過ぎていく毎日ですが、春の訪れは、少し特別なのかもしれません。桜をみて1年の始まりを感じ、気持ちも新しくなる気がします。

初NETも2度目の春を迎えました。これからも楽しい情報満載でお届けします。末永くご愛読ください。

言語聴覚士　渡邊　ユミ